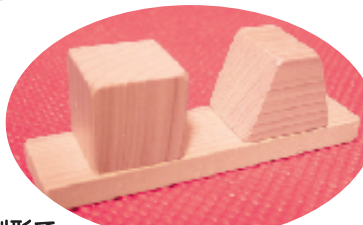


5K 楽つみ木広場 2010年 11月23日(火・祝日)

30000個の楽つみ木を使った遊びと学び合いそしてつみ木の創作表現

つみ木遊びがみんなをかえていく。
 =たくさんのつみ木があることで遊び方が変化していく。
 (量的変化が質的变化をもたらす)
 =楽つみ木の3つの種類の個性が、組み合わせ方、表現する創形で、
 バリエーション豊富な遊びへと発展していく。



楽つみ木の3つの種類

遊びの環境:「楽つみ木広場」ワークショップ

1998年から始まったつみ木遊びは、全国の幼児教育者、先生、保育士、保護者、こどもたちと協同実践積み重ねながら熟成しつみ木に特化したワークショップへと発展してきました。

つみ木に特化した教育、体験プログラム

言葉よりも体験することで相互の思いが伝わりやすくなり、必然と気づきが生まれ信頼関係が構築されます。
 しかし一方では、子どもの中に心の内を見せない現代のこどもたちがいます。混沌とした大人社会の影響が子どもの育成環境に表れています。

上手い、下手がない、失敗してもやり直しができる遊びだからこそ、自由さがこどもの心を楽にする。少しづつ子どもの笑顔が豊になってきます。

楽つみ木広場ワークショップでは、こどもの視点に立って応援し、やる気を引き出し、信頼出来る環境を創出するファシリテーターが重要になります。



「生きるために必要なことは、みんな楽つみ木広場に学んだ！」

子どもたちが積んだ積み木の造形は、小さい建築であり、感動する芸術です。子どもたちは小さな楽つみ木で、大きな夢を築き、ギャラリーで見守る父母は、わが子の作品に目を見張る一瞬です。

積み木に特化したことで発見した「楽つみ木広場ワークショップ」プログラムは、楽つみ木広場の遊びと学びの循環プロセスで、参加者の感性を引き出し、人間関係を築き、創造的な行動へ導くという特色があり、それは、子どもばかりではなく、大人も含めたあらゆる年齢、そして幅広い立場の人々の生涯学習に適用することができます。さまざまな分野でグループによる体験学習に役立てて頂ければ幸いです。

幼児教育者・保育科学生・建築科学生必見のプログラムです。

木楽舎つみ木研究所 荻野雅之

◆主な活動の経歴◆

- 1998.10 山梨県清里・ホール・ラッシュ祭ハケ岳カンティフェアにて「楽つみ木」誕生
- 2000 丸ビル基礎松杭で「楽つみ木」製作
- 2000.5 山梨県植樹祭「1万個楽つみ木広場」登場
- 朝日新聞社「暮しの風」辰濃和男著「楽つみ木」活動紹介
- テレビ朝日全国放送「いきいき!夢キラリ」出演
- 2006.1 NHK総合TV全国放送「つみ木広場へようこそ」出演
- 2006.5 英国ロンドン市内小学校5校を積み木交流訪問
- 2006.7 日本経済新聞朝刊 文化欄に「楽つみ木広場」を紹介
- 2007・2008 渋谷NHK放送センター「エコスタイル・ストリート」出演
- 2007.10 小学館「3、4、5保育」で楽つみ木紹介 キッズチャレンジ
- 2007・2008.8 東京国際フォーラム「丸の内キッズフェスタ」出展
- 2008.8 経済産業省 キッズデザイン賞受賞
- 2009.3 楽つみ木広場ワークショップ ガイドブック出版
- 2009.4.26 こども環境学会 デザイン賞受賞
- 2009.8.12 東京丸の内キッズフェスタ
- 2009.9.13 名古屋オアシス21「楽つみ木広場」開催
- 2009.12.6 アートミーツア学会 実践報告
- 2010.4 環境・CSR経営 世界ベスト100社に選定
- 2010.5.23 朝日新聞社 天声人語「楽つみ木広場」紹介
- その他、全国年間50ヶ所以上で地域の保育園、幼稚園、小学校、子育てサポート、社会教育の方々の共同企画で「楽つみ木広場」を開催。



木楽舎 つみ木研究所

電話番号:055-273-4472 FAX番号:055-273-4088

kirakusha 〒409-3831 山梨県中央市大和田1965

●ウェブサイトからは

楽つみ木広場

検索

●e-mailは info@kirakusha.jp
 ●ツイッターは @tsumiki_ojisan

アクセス

- 東京メトロ丸の内線「四谷三丁目駅」2番出口より
- 都営新宿線「曙橋駅」A1出口より
- お子様連れで徒歩7分

東京おもちゃ美術館

〒160-0004 東京都新宿区四谷4-20 四谷ひろば内
 TEL 03-5367-9601 FAX 03-5367-9602
 URL : http://www.goodtoy.org/ttm/
 e-mail : info@goodtoy.org

